

- 問1 大戦景気による社会の変化を描いた当時の有名な風刺画があります。その画の中で、暗い玄関先で靴を探すために百円札に火をつけて明かり代わりにする男性が描かれている理由は、どのような社会背景を象徴していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 財閥の当主が、自らの権力を誇示するために貴族院での演説を準備している様子を表すため | 2. 激しいインフレーションによって紙幣の価値が暴落し、燃料としてしか使えなくなったため | 3. 戦争による電力不足が深刻化し、都市部でも灯りが一切使えなくなったため | 4. 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 第一次世界大戦の終結後に開催されたパリ講和会議において、日本の立場や主張について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|
| 1. アメリカやロシアとともに、東アジアにおける軍備縮小を最優先に提案した。 | 2. 国際連盟の常任理事国になることを辞退し、経済発展に専念する道を選んだ。 | 3. 日英同盟の継続を強く主張したが、他国の反対により同盟の解消を余儀なくされた。 | 4. ドイツが持っていた中国の山東省の権益を引き継ぐことを認めさせた。 |
|--|--|---|-------------------------------------|
- 問3 第一次世界大戦後のインドにおける民族運動において、指導者のガンディーが、イギリス製の機械で作られた製品を使わずに、伝統的な「糸車」で糸をつむぐことを奨励した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. イギリスの工業技術を導入するための資金が不足していたため、やむを得ず伝統的な手法を再評価することにしたため | 2. イギリス製の安価な工業製品を拒絶し、自給自足の姿勢を示すことで、イギリスによる経済的支配から脱却するため | 3. イギリス政府との交渉により、インドの特産品である手織り製品をヨーロッパへ高値で輸出する権利を得るため | 4. 糸車を武器の部品として改造し、イギリス軍に対して秘密裏に武力闘争の準備を進めるためのカムフラージュとするため |
|--|---|---|---|
- 問4 大正デモクラシーの時期に、政治の仕組みをより民主的なものへと変革するために人々が強く求め、1925年の法改正によって実現した内容として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1. 身分制度を廃止して四民平等を掲げ、武士に代わって農民を兵士として徴用すること | 2. 藩閥出身の官僚を中心とした政治を継続し、元老が内閣総理大臣を推薦すること | 3. 地価の3%を現金で納める制度を導入し、政府の財政基盤を確立すること | 4. 直接国税の納税額に関わらず、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与えること |
|---|---|--------------------------------------|--|
- 問5 1914年から1918年にかけての日本の貿易統計において、輸出額が輸入額を大幅に上回り、右肩上がり急増した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本が第一次世界大戦に参戦せず、中立な立場で交戦国すべてと自由な貿易を行ったこと | 2. ロシア革命の影響により、社会主義圏への軍需品の輸出が飛躍的に伸びたこと | 3. 戦場となったヨーロッパ諸国がアジア市場から後退し、日本が代わりに製品を供給したこと | 4. 日清戦争の賠償金を資金として、官営の八幡製鉄所を中心とした重工業化が達成されたこと |
|---|--|--|--|
- 問6 第一次世界大戦の終結に向けた1919年のパリ講和会議において、アメリカのウィルソン大統領が提唱した、それぞれの民族が他国の干渉を受けることなく自らの政治的地位を決定すべきであるという原則を何といいますか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 平和十原則 | 2. 人民主権 | 3. 民族自決 | 4. 帝国主義 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問7 1925年に制定された普通選挙法の内容として、正しいものはどれですか。当時の社会情勢を踏まえて答えなさい。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 都市部の居住者に限り、納税額に関わらず満20歳以上の男子に選挙権を与える。 | 2. 性別による制限を撤廃し、満25歳以上のすべての男女に選挙権を与える。 | 3. 直接国税を3円以上納める満25歳以上のすべての男子に選挙権を与える。 | 4. 直接国税の納税額による制限を撤廃し、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与える。 |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問8 1925年に東京などで開始されたラジオ放送が、当時の社会に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 太陽暦の採用を促す宣伝媒体となり、国民の時間の概念を根本から変化させた | 2. ニュースや音楽が同時に多くの人々へ伝わるようになり、都市文化の発展に寄与した | 3. 海外のテレビ番組が直接受信できるようになり、欧米の生活様式が急速に普及した | 4. 高速道路網の整備と組み合わせることで、地方から都市への人口移動を加速させた |
|--|---|--|--|
- 問9 大正デモクラシーの風潮が高まる中、1925年に制定された、納税額による制限を廃止し、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与えることを定めた法律を何といいますか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 治安維持法 | 2. 国家総動員法 | 3. 普通選挙法 | 4. 教育勅語 |
|----------|-----------|----------|---------|
- 問10 大正時代の日本の外交政策において、第一次世界大戦への参戦は大きな転換点となりました。日本がイギリスとの軍事同盟を根拠に連合国側として参戦した主な政治的・外交的な目的を背景とした説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. イギリスとの同盟関係を維持しつつ、中国におけるドイツの権益を奪うことで、東アジアでの勢力を拡大するため。 | 2. ロシアとの同盟を強化し、不凍港を確保するためにシベリア全域を日本の統治下に置いたため。 | 3. 三国同盟側として参戦し、ドイツやイタリアと協力してアジアからイギリスやフランスの勢力を排除するため。 | 4. アメリカの参戦要請にいち早く応えることで、戦後の国際連盟において常任理事国の地位を確保するため。 |
|---|--|---|---|
- 問11 日本の歴史における飢饉や社会不安に関連した出来事について、古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → シベリア出兵を背景とした米騒動 | 2. シベリア出兵を背景とした米騒動 → 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 | 3. 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → シベリア出兵を背景とした米騒動 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 | 4. 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → シベリア出兵を背景とした米騒動 |
|--|--|--|--|
- 問12 大正時代初期、第3次桂太郎内閣が退陣に追い込まれた「大正政変」に至る背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. イギリスの貨物船が沈没した際、日本人乗客が救助されなかった事件をきっかけに、不平等条約の改正を求める国民運動が激化した。 | 2. 政府が社会主義の取り締まりを強化するために治安維持法を制定しようとしたため、護憲三派と呼ばれる政党が激しく反対した。 | 3. 明治天皇の崩御に伴い、天皇親政を求める軍部が内閣に対して議会の解散を要求し、それに対する国民の反発が強まった。 | 4. 陸軍が2個師団の増設を要求し、これが拒否されたことで内閣が倒れたことをきっかけに、藩閥中心の政治に対する批判が爆発した。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため	和田邦邦によって描かれたこの風刺画は、第一次世界大戦中に急増した「成金」の姿を象徴しています。当時の百円札は現在の価値に換算すると数十万円にも相当する非常に高額なものでしたが、それを燃やして「どうだ明るくなったろう」と言う場面を描くことで、成金たちの節操のない贅沢や成金趣味を鋭く批判しています。
問2	答え 4 ドイツが持っていた中国の山東省の権益を引き継ぐことを認めさせた。	日本はパリ講和会議において、大戦中に占領したドイツの山東省権益の継承や、赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を主張し、認められました。また、日本は発足した国際連盟において、常任理事国の一つとなりました。
問3	答え 2 イギリス製の安価な工業製品を拒絶し、自給自足の姿勢を示すことで、イギリスによる経済的支配から脱却するため	当時のインドはイギリスの植民地支配下にあり、イギリスはインドから原料の綿花を安く買い取り、自国の工場で大量生産した安価な綿製品を再びインドに売りつけることで利益を上げていました。ガンディーは、これらイギリス製の製品を買うことを拒否し、あえて手間のかかる伝統的な糸車で布を作るという「非暴力・不服従」の姿勢を示すことで、イギリスの経済的基盤を揺さぶり、インドの完全な自治（スワラージ）を実現しようと試みました。武力ではなく、不買運動や自給自足といった精神的な独立を重視したのが特徴です。
問4	答え 4 直接国税の納税額に関わらず、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与えること	大正デモクラシーの大きな目標の一つが、納税額による制限を撤廃した「普通選挙」の実現でした。これにより、それまでの納税額に応じた制限選挙から、満25歳以上のすべての男子による選挙へと移行し、政党政治の基礎が固められました。なお、女性への参政権が認められたのは第二次世界大戦後のことです。
問5	答え 3 戦場となったヨーロッパ諸国がアジア市場から後退し、日本が代わりに製品を供給したこと	第一次世界大戦が始まると、それまでアジア市場に製品を供給していたイギリスやドイツなどのヨーロッパ諸国が、自国の戦争に注力するために生産や輸出を停止・縮小させました。その空白となったアジア市場に対し、日本が綿織物などの軽工業製品や軍需品を大量に輸出したことで、日本の貿易額は劇的に増加しました。これにより、日本は長年の赤字状態から脱却し、未曾有の好景氣を迎えることとなりました。
問6	答え 3 民族自決	アメリカのウィルソン大統領は「十四か条」の中でこの原則を提唱しました。この考え方は、第一次世界大戦後の国際秩序を形成する重要な柱となり、東ヨーロッパにおいてポーランドやチェコスロバキアといった新しい独立国が誕生する根拠となりました。
問7	答え 4 直接国税の納税額による制限を撤廃し、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与える。	大正デモクラシーの進展により、護憲運動や普通選挙運動が高まった結果、加藤高明内閣のもとで制定されました。それまでは直接国税（3円以上）の納税が条件となっていたましたが、この法律によって納税額による制限が廃止されました。ただし、この時点では女性に参政権は認められておらず、全男女に選挙権が与えられたのは第二次世界大戦後の1945年のことです。
問8	答え 2 ニュースや音楽が同時に多くの人々へ伝わるようになり、都市文化の発展に寄与した	ラジオ放送の開始は、情報を「同時性」を持って不特定多数に届けることを可能にしました。これにより、流行歌やニュースが瞬時に広まり、都市部を中心に「大衆文化」と呼ばれる新しい文化の形態が育まれる重要な要因となりました。選択肢にある高速道路の整備は昭和時代、太陽暦の採用は明治時代初期の出来事です。
問9	答え 3 普通選挙法	それまでは一定額以上の直接国税を納める者だけに認められていた選挙権が、経済力に関わらず成人男子全員に拡大されました。これにより政党政治がより強固なものとなりましたが、一方で社会主義運動を抑圧するために治安維持法も同時に制定されたという背景があります。
問10	答え 1 イギリスとの同盟関係を維持しつつ、中国におけるドイツの権益を奪うことで、東アジアでの勢力を拡大するため。	日本は日英同盟を名目に参戦しましたが、その背景にはヨーロッパでの戦争により列強の関心がアジアから離れている隙に、中国におけるドイツの利権（山東半島など）を接收し、自国の勢力圏を広げたいという意図がありました。この参戦とその後の行動は、中国への「二十一か条の要求」へとつながっていくことになります。
問11	答え 1 天明の飢饉による社会混乱での田沼意次の失脚 → 天保の飢饉下での大塩平八郎の乱 → シベリア出兵を背景とした米騒動	まず18世紀後半、天明の飢饉による一揆や打ちこわしの頻発により田沼意次が老中を退きました。次に19世紀前半の1837年、天保の飢饉に際して大塩平八郎の乱が起きました。最後に20世紀初頭（1918年）、シベリア出兵を見越した米の買い占めにより米騒動が全国に広がりました。これらは江戸時代中期、江戸時代後期、大正時代という時系列になります。
問12	答え 4 陸軍が2個師団の増設を要求し、これが拒否されたことで内閣が倒れたことをきっかけに、藩閥中心の政治に対する批判が爆発した。	第2次西園寺公望内閣が、陸軍による2個師団増設の要求を財政難を理由に拒否したところ、陸軍大臣が辞任して後任を出さず、内閣を総辞職に追い込みました。その後に再び藩閥出身の桂太郎が首相となったため、「軍や藩閥が自分たちの思い通りに政治を動かしている」という不満が民衆の間で高まり、護憲運動（第一次憲政擁護運動）へと発展しました。